

震災後の地域コミュニティ、これからどうなるの？

東日本大震災は、地域コミュニティにも大きな影響を与えましたが、地域の絆を取り戻そうと、住民自らが主体となって地域づくりに取り組む活動が各地で広がっています。宮城県は、住民が地域の魅力やアイデアを生かして行う新たな地域づくりを支援し、にぎわいと活力のあるまちの再生を目指していきます。

ここが知りたい！ 宮城県政 ～復興へ頑張ろう！～

多様なニーズへの対応

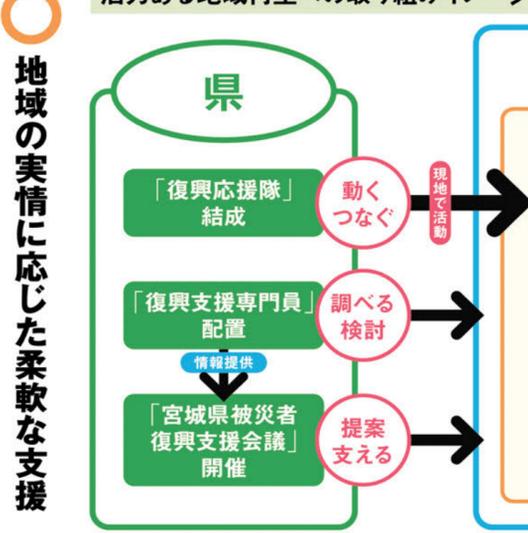
「復興支援専門員」が被災地で把握した支援ニーズなどの情報は、各地域に根ざして活動を行っている主要な支援活動団体や学識経験者で構成された「宮城県被災者復興支援会議」へ提供します。支援会議では、被災地の課題整理や情報交換などを行うとともに、被災者に寄り添った多様なニーズに対応できる支援策を提案していくこととしています。

支援会議の構成メンバーがアドバイザーとなり、地域課題の解決に向けて、的確なアドバイスを行うなど活動のバックアップ体制も充実させていきます。

地域の実情に応じた柔軟な支援

被災地が抱える課題やニーズは個別化・多様化してきており、地域の実情に応じた、より柔軟な支援が求められています。

県では、「復興応援隊」のほかに「復興支援専門員」を配置し、被災地の現状と支援ニーズを把握するとともに、被災地の実情に応じた効果的な支援策を検討していきます。



被災地

復興プロジェクト実施

復興応援隊 動く つなぐ

支援団体など 地域の団体・事業者

【復興応援隊によるサポート事例】

- 「つながり」を生かした地域コミュニティ再生 (仙台市若林区)
- スポーツを通じた子供への支援と地域の活性化 (石巻市中心市街地)
- 故郷の再生に向けた住民同士のつながりの維持と賑わいづくり (石巻市雄勝地区)
- 生業再生・産業・観光振興による地域の活性化 (石巻市牡鹿地区)
- 市民協働のまちづくりの再生 (東松島市)
- 住民参加による観光のまちづくり (南三陸町)

「復興応援隊」結成！

県では、被災地の地域づくりを目的とした住民主体の地域活動を促進するため、市町村や関係団体と連携してそれぞれの地域で復興に向けた取り組みを行う人材を内外から募り「復興応援隊」を結成しました。これまでに、県内では6地区に合計20人の復興応援隊員が配置されています。(平成24年11月1日現在)

「復興応援隊」は、地域の再生と発展を目指し、仮設住宅等で避難生活を送る方々への生活支援や地域コミュニティの再構築支援、コミュニティビジネスの創出、観光振興など、地域が抱える課題やニーズに応じて住民が主体となって取り組んでいる活動(復興プロジェクト)をサポートしていきます。

宮城県は震災復興に全力で取り組んでいます

住民の手でにぎわい復活を

「がんばってっちゃん杜鹿」プロジェクト委員会 (石巻市牡鹿地区)

石巻市牡鹿地区の住民でつくる非営利団体「がんばってっちゃん杜鹿」プロジェクト委員会は今年1月、「自分たちの手で活気ある杜鹿を取り戻そう」と住民16人で発足した。7月から復興応援隊制度を活用し、漁業、経済、観光を連携させたまちづくりに動んでいる。

「地域の思いを具現化するまちづくり」をテーマに、仮設商店街「おしかのれん街」を拠点としたにぎわい創出、漁協女性部のコミュニティビジネスの支援、国定公園金華山を活用した観光振興などに取り組んでいる。今年5月には復興祭を開き、盛り上げた。

支援する応援隊員は、委員会の中心メンバーで、地元で水産物卸売業を営む大森圭さん(35)と、復旧ボランティアを機に県内外から移り住んだ20～40代の3人。住民目線と、客観的な視点の両面で活動を支える。大森さんは「応援隊制度を導入し、役所との連携や、住民の意見集約がスムーズになった」と話す。

現在は、委員会メンバーが全国に向かい、地場産品や復旧状況をPRしながら、支援への感謝を伝えている。18日に開くおしかのれん街1周年感謝祭の準備にも忙しい。

大森さんは「当たり前」に生活できる杜鹿を取り戻すことが、世界中から受けた支援への恩返しになる。住民の声と知恵を集めて、再び観光客でにぎわう古里を復活させたい」と張り切っている。



少しずつ復旧し始めた石巻市牡鹿地区の鮎川漁港で、古里再生への思いを語る大森圭さん

企画/県広報課 ◎お問い合わせ/県地域復興支援課 022(211)2424

復興支援専門員

支援活動を行っている団体関係者や被災地の事業者、自治会長等を訪問して各地域の現状や求める支援ニーズを調査・分析し、必要な助言や指導を行うほか、適切な支援機関を紹介し、課題の解決へつなげます。

訪問活動により得た情報を基に今後必要な支援策の検討を行い、市町村や支援団体等と協働して日々刻々と変化するニーズに臨機応変に対応するための施策を企画立案します。

宮城県被災者復興支援会議

被災地の課題整理や各分野の情報交換・共有を行うとともに、県に対し、被災者の視点での支援策の提案を行います。県は提案を基に、被災地の多様なニーズにきめ細かく応えるための新たな施策を検討し、被災市町および支援活動団体等と連携して地域に寄り添った支援事業を展開していきます。

支援会議の構成メンバーをアドバイザーとして被災地へ派遣し、的確なアドバイスを行うなど地域課題の解決へ向けた支援も実施していきます。

復興支援専門員募集

宮城県では現在、復興支援専門員を募集しています。応募要件等、詳しい内容については、県地域復興支援課のホームページ(<http://www.pref.miyagi.jp/tisin/>)に掲載していますので、ご覧ください。

- 採用予定数/若干名
 - 申込期限/11月8日(木)必着
 - お問い合わせ/申込先/県地域復興支援課
- 仙台市青葉区本町三丁目8-1 宮城県庁行政舎6階
電話: 022-211-2424 E-mail: tisin2@pref.miyagi.jp

「つながり」生かし地域再建

六郷・七郷コミネット (仙台市若林区)

仙台市若林区東部に位置する六郷・七郷地区は、大津波によって住宅や事業所など生活基盤のほとんどが壊滅的な被害を受けた。そんな地域の生活再建を支えようと集まってくるボランティア団体などの動きをサポート、調整する目的で昨年6月に発足したのが六郷・七郷コミネットだ。

ゆるやかな連携で被災地を支援しようという設立趣旨が共感を呼び、現在では官民の25団体が加入。お互いが情報を共有しながら、地域住民と心を通わせる「つながり」をキーワードにした支援活動を進めている。

活動は三つを柱にしている。会員が相互に情報発信して共有する「ネットワーク構築」、被災住民のニーズを把握する「お茶っこ飲み会」、地域の記憶を記録する「地域誌作成」の3事業。

仙台市若林区まちづくり推進課がコミネットの事務局を務め、事業をコーディネートする。同課の鈴木誠主任は「事業を進める中で行政、企業、団体をつなぐ人材を育成できれば大きな地域還元になる」と話す。

事業のサポート役として10月中旬、NPO法人から2人の復興応援隊員がコミネット事務局に加わった。「活動の輪が広がればマンパワーが不足していた。ホームページの充実、情報発信の強化などで頼りにしている」。若林区まちづくり推進課の尾崎宏之係長は新戦力に期待を寄せる。



「つながり」生かし地域再建。六郷・七郷地区の思いを語り合い、地域誌作成に役立てる

県からのお知らせ

民間投資促進特区(農業版)について

復興産業集積区域内(津波浸水地域および隣接する地域内で沿岸部の11市町が指定した区域)で「農業」および「関連業種」(食料品製造業など)を行う事業者の方々が復興に寄与する事業(新規投資や被災者雇用など)を行う場合には、県の指定を受けるとともに、より税制の特典を受けることができます。

詳しくは、下記お問い合わせください。

◎ 県農業振興課 ☎ 022(211)2833
<http://www.pref.miyagi.jp/nosin/kikakushidouhan/fukkoutokku.htm>

秋季特別展「みちのく鬼めぐり」記念講演会

● 演題/「東北の鬼」
● 講師/内藤正敏氏(東北芸術工科大学大学院教授)

● 日時/11月11日(日)午後1時30分～3時
● 場所/東北歴史博物館3階講堂
● 費用/無料(事前申し込み不要)

◎ 東北歴史博物館 ☎ 022(368)0106
<http://www.thm.pref.miyagi.jp/>

ビジネスマナー研修会受講者募集

● 内容/コールセンターとは、ビジネスマナーの基本(身だしなみ、あいさつなど)、話し方、電話対応の基本

● 定員・費用/50人(先着順)・無料
● 日時/11月17日(土)午後2時～4時30分
● 場所/石巻市河北総合センタービックパン1階集客の部屋

● 申し込み/11月15日(木)までに、ファクシミリ022(221)8931により、氏名、電話番号、ビジネスマナー研修受講希望の旨を記載し、「みやぎコールセンター協議会」へ

◎ 県情報産業振興課 ☎ 022(211)2479

「食料王国みやぎ地産地消推進店」復興応援キャンペーン第2弾

東日本大震災により被災したみやぎの農林水産物の早期復興に向けて、「食料王国みやぎ地産地消推進店」が、旬の食材を活用した地産地消メニューの提供を通して応援します。

みやぎの恵みを美味しく食べて飲んで応援しましょう!

● キャンペーン期間/11月30日(金)まで
● 特典/抽選で20人の方に、同キャンペーン第3弾(平成25年2月実施予定)で使える商品券3千円分が当たります。

※対象店舗、応募方法など詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎ 県農業振興課 ☎ 022(211)2814
<http://suisinten-miyagi.com/>

健康と復興まちづくりを考えるシンポジウム

● 内容/県議(ていだん)「地域に根ざした健康と復興のまちづくり」(南三陸町長佐藤氏、関西学院大学教授崎崎益輝氏、高知県立大学学長南裕子氏)、講演、分科会、パネル展示、情報交換会(参加無料)

● 定員/700人(席談・講演)(先着順)
● 日時/11月17日(土)【分科会】午前10時～正午【席談・講演】午後1時～3時
● 場所/宮城大学大和キャンパス(大和町学苑1-1)

● 申し込み/11月15日(木)までに、電話、ファクシミリまたはEメールにより下記へ
※定員など詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

◎ 宮城大学地域連携センター ☎ 022(377)8414 FAX 022(377)8282
Eメール: renkei@myu.ac.jp
<http://www.myu.ac.jp/>

みやぎ子ども育英基金奨学金の給付対象範囲の拡大について

県では、震災で親などを亡くされた子どもたちに奨学金を給付しています。この奨学金の給付対象範囲の拡大により、一層の修学支援を行います。

● 内容/
● 給付対象年齢を震災時満18歳以下から、原則として満22歳以下までに拡大
● 震災時19歳以上で平成23年度以降に大学などに入学した方への一時金の新設
※詳しくは、下記お問い合わせください。

◎ 県教育庁総務課 ☎ 022(211)3611
<http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/syougaku.htm>

ひとり親家庭就職・転職等支援セミナー参加者募集

● 対象/ひとり親家庭の母および専業主婦で就職・転職希望者

● 日時/11月18日(日)午前10時～正午
● 場所/宮城県母子福祉センター
● 費用/無料(託児あり、要予約)
● 申し込み/11月16日(金)(消印有効)午後4時までに、住所、氏名、電話番号、託児の有無を電話、ファクシミリまたははがきにより下記へ

◎ 宮城県母子福祉センター ☎ 022(295)0013 FAX 022(256)6512
<http://983-0832>
仙台市宮城野区安養寺3-7-3(母子福祉センター内)

◎ 大規模事業評価に関するご意見募集

県では、大規模事業評価に関する資料を公表し、県民の皆さんのご意見を募集しています。

◎ 対象事業/「仙南・仙塩広域水道高区・低区連絡管整備事業」

◎ 県建設業課 ☎ 022(211)3244

復興支援金融・経済講演会

● テーマ/①「再建に向けたくらしにどう取り組むか」講師/弁護士菊地幸夫氏(行列のできる法律相談所出演中)②「FPもおもしろい」講師/FP協会代表理事 藤原 浩一氏

● 日時/11月17日(土)～18日(日)(1泊2日)
● 場所/志津川自然の家
● 費用/1組5000円程度

● 申し込み/11月6日(火)までに、電話またはファクシミリにより、住所、全員の氏名、年齢、性別、電話番号を下記へ

◎ 志津川自然の家 ☎ 0226(46)9044 FAX 0226(46)9045
〒986-0781 南三陸町戸倉字坂本88-1
<http://www.pref.miyagi.jp/sz-seinen/>

みやぎ呼吸器健康教室

● 内容/自宅でもできる呼吸器リハビリ体操の学習

● 対象/呼吸器に障害、病気をお持ちの方もしくは関心のある方

● 定員/15人程度(先着順)
● 日時/11月17日(土)午後1時30分～3時30分
● 場所/斎藤病院4階会議室(石巻市山下町1-7-24)

● 費用/無料(アンケート有り)
● 申し込み/11月15日(木)(消印有効)までに、はがきまたはファクシミリにより、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記載し、下記へ

◎ 斎藤病院 ☎ 022(211)2618
〒980-8570(住所不要)

自治医科大学医学部学生募集

● 出願資格/高等学校卒業(卒業見込みを含む)またはこれと同等以上の学力があると認められる方

● 第1次試験日/平成25年1月28日(月)、29日(火)

● 会場/宮城県自治会館
● 出願/平成25年1月4日(金)～23日(水)午後5時～平成25年1月22日(火)消印有効で、書留郵便などにより下記へ

◎ 願書/下記配布 ☎ 022(291)1587 FAX 022(291)1588
〒980-8570(住所不要)

震災により全壊した住宅の移転要件の緩和について

震災により全壊した一戸建て住宅を、市街地調整区域(市街化を抑制すべき区域)へ移転する場合の要件を緩和しました。

● 緩和された要件/市街化区域内に土地を所有していない方がやむを得ない事情により、全壊した住宅の代替として、県が指定した区域内に住宅を建築することなど

※詳しくは、下記お問い合わせください。

◎ 県建設業課 ☎ 022(211)3244

親子で星座観察

● 内容/星座に関する講話・観察など

● 対象/小学生以上の児童・生徒とその保護者

● 定員/30人(応募多数の場合抽選)
● 期日/11月17日(土)～18日(日)(1泊2日)
● 場所/志津川自然の家
● 費用/1組5000円程度

● 申し込み/11月6日(火)までに、電話またはファクシミリにより、住所、全員の氏名、年齢、性別、電話番号を下記へ

◎ 志津川自然の家 ☎ 022(211)2527 FAX 022(211)2523
〒980-8570(住所不要)

県民ロビーコンサート出演者募集

● 対象/演奏ジャンル、プロ・アマチュアなど資格は問いませんが、大掛かりな機材などを必要としないもの(カラオケは除く)

● 出演時期/平成25年4月～9月
● 日時/各月第4水曜午後0時15分～45分
● 場所/県庁1階ラウンジ

● 申し込み/11月30日(金)(消印有効)までに、「出演希望書」に必要事項を記入の上、郵送またはファクシミリにより下記へ

◎ 県消費生活・文化課 ☎ 022(211)2592 FAX 022(211)2592
〒980-8570(住所不要)

県議会11月定例会開催

11月22日(木)午後1時から、11月定例会の本会議が開催される予定です。本会議や委員会等は傍聴できるほか、インターネットでも本会議の様子をご覧いただけます。

【ラウンジコンサート(開会初日)】

● 日時/11月22日(木)午後0時15分～45分
● 場所/県議会庁舎1階ラウンジ
● 出演/仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーによる弦楽四重奏

◎ 県議会事務局総務課 ☎ 022(211)3571 FAX 022(211)3579
Eメール: gikaig@pref.miyagi.jp
<http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/>

仙臺鍋まつり

仙臺地域の特産品を題材として盛り込んだ「自慢の鍋」が味わえるイベントです。地域色豊かな鍋が気軽に楽しめます。

● 日時/11月6日(火)、7日(水)午前11時～午後2時(売り切れ次第終了)

◎ 仙台地方振興事務所地方振興部 ☎ 022(275)9140

宮城県立病院機構職員採用試験

地方独立行政法人宮城県立病院機構に勤務する職員を募集します。

● 職種および採用予定人員/①精神保健福祉士1人程度②がん指導薬剤師1人程度

● 給与・待遇/法人の規程による

● 試験日/12月16日(日)

● 試験場所/宮城県立がんセンター(名取市)

● 申し込み/11月21日(水)①12月6日(木)(いずれも消印有効)

● 採用予定日/平成25年4月1日以降

※受験資格や申込方法など詳しくは、下記お問い合わせください。

◎ 県立病院機構事務局企画総務課 ☎ 022(211)2682
<http://www.miyagi-pho.jp/>

県議会ラウンジコンサート出演者募集

● 対象/演奏ジャンル、プロ・アマチュアなど資格は問いませんが、大掛かりな機材などを必要としないもの(カラオケは除く)

● 出演時期/平成25年2月～6月

● 日時/定例会各招集日午後0時15分～45分

● 場所/県議会庁舎1階ラウンジ

● 申し込み/11月30日(金)(消印有効)までに、「出演希望書」に必要事項を記入の上、郵送またはファクシミリにより下記へ

◎ 県議会事務局総務課 ☎ 022(211)3571 FAX 022(211)3579
Eメール: gikaig@pref.miyagi.jp
<http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/>